

# 東京龍門会報

発行所  
 神奈川県川崎市幸区 古川町50:  
 今村電機株式会社内  
 電話 044 (522) 8266  
 東京龍門会  
 発行人  
 今 村 彬

平成10年度の総会は

## 5月16日(土)

会場は三州クラブです



新築された  
 同窓会館(手前)より  
 蔵王岳を望む

平成10年度

### 東京龍門会総会のご案内

陽春の候 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
 平成10年度の東京龍門会総会を、左記の通り開催することになりました。

加治木高等学校校長並びに柚木同窓会々長をお迎えし、皆様と親しく懇談いたしたいと存じますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

なお準備の都合上五月九日 までに同封のハガキにて必ずご回答くださいますようお願いいたします。

#### 記

日 時 平成10年5月16日(土)

午後2時から自由懇談会

午後2時30分から総会

午後3時30分からパーティ

場 所 三州倶楽部(品川区上大崎1-20-27)

電話 03(三四四七)六七七六

JR目黒駅下車、目黒通りを白金迎賓館の方へ約200米進み、高速道路の交差点を右折し、3本目の通りを左折、突当りです。  
 (徒歩約10分)

会 費 パーティ費 男 子 六千円  
 女 子 五千円

年会費 二千元

平成十年四月吉日

東京龍門会々長

今 村

彬

TEL 〇四四(五二二)八二六六

◎住所・職業その他に異動がありましたら、ご面倒でも同封のハガキでご通知ください。

### 総会への参加を

#### お待ちします

東京龍門会々長 今村 彬  
(高2回)

景気の低迷に続き目にあまる青少年の犯罪の多い昨今の世相ですが、皆様いかがお過ごしですか。昨年は喜ばしき母校百周年に当りその祝賀会が盛大に挙行され、また記念事業として永年取り組まれてきました同窓会館も斬新なデザインと工夫された設備を整え完成しました。名称は「龍門会館」と名付けられました。これも一重に東京龍門会の同窓生の方々の協力の賜物と心から感謝いたします。そして建設募金の協力に母校より東京龍門会に感謝状が贈られましたのでご報告します。記念

事業の詳しい内容については同窓会事務局より報告されていますので省略しますが、ただ会館の建設資金が不足しており、募金活動が続けられていくようですのでご協力の程お願いします。今年もまた総会の日が近づきました。多くの方の参加をお待ち申しあげます。

### 母校創立百周年記念事業を終えて

加治木高校  
同窓会事務局

柏木 恬

創立百周年記念行事が平成9年11月1日(土)に挙行されました。好天に恵まれ、多数の同窓生の方々に参加いただき、受付の混乱もひどいもので、大変ご迷惑をかけましたが、盛大に執り行なわれました。東京龍門会の同窓生の方

々に当日の日程及び内容等につき報告させていただきます。  
※亡師友慰靈祭(9時20分) 校門横に祭壇を設けた亡師友碑の前で、約四百名が参列しその中で厳粛に行なわれました。神事後、柚木一雄実行委員長が「祭」上。そし



母校より贈られた感謝状

て各代表八名の方々が玉串奏奠されました。

#### ※記念式典(11時)

来賓、同窓生、職員(旧・現)、そして本校生徒約千八百名が出席して、本校の体育館で行なわれました。国家斉唱のあと校長式辞、実行委員長、PTA会長のあいさつがあり、祝辞に県知事、県議会議長、県教育委員会教育委員長また県高校長協会代表の方々から言葉をいただきました。そして生徒会長の加世田裕子さんの「喜びのことば」と本校吹奏楽部の演奏のもとで校歌斉唱がありました。沢山の同窓生の方々の参加に生徒たちも百周年の重みを感じたようです。それから永年お世話になりました学校医の先生、同窓

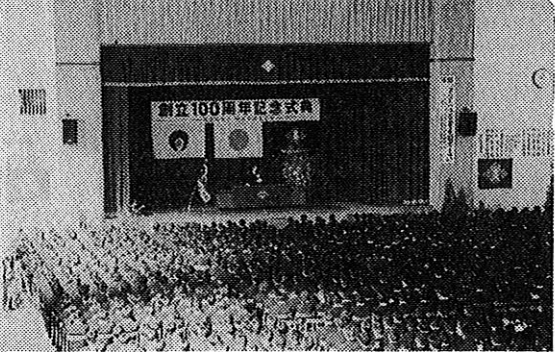
会館建設募金に多額の寄付をいただいた方、また記念扁額や記念像などをいただいた12名の方々に表彰状・感謝状の贈呈がありました。

会館建設募金に多額の寄付をいただいた方、また記念扁額や記念像などをいただいた12名の方々に表彰状・感謝状の贈呈がありました。

#### ※記念講演(11時10分)本校体育館

演題「グローバル企業を目ざして」ーグローバル・スタンダードの時代ー  
講師に岸園 司氏(オイルス工業(株)会長・高2回卒)を迎え、

沢山の聴衆者の中で、本校在学中に戦火に会い、本校校舎が全焼したこと、仲間の死など空襲の体験談は在学生徒たちには現在の幸わせな時代を考へさせられたようです。また本校で学んだことの意義、そして国際社会に必要なことや自分の会社経営に対する数々の言葉「神は皆平等に一日24時間という時をくださった。過去は過ぎ去り、未来は来たらず、今に生きよ、時は今です」とか、グローバル三極戦略で得た各国の特徴は「アメリカは開放性、ヨーロッパは古い伝統を大変大事にする、アジアの人は繋がりを大切にすること」を踏まえての会社経営、また「自分とは人生というストーリーのシナリオライター、かつそれを演じる役者なのだ」という言葉など



在校生も参加しての式典会場



岸園司氏の講演

在校生徒たちは我が大先輩の話に感動し、百周年の重みと国際社会に生きる先輩に対し、これからの人生の良き糧となる講演であったと大好評でした。

#### ※祝賀会(13時30分)ホテル京セラ

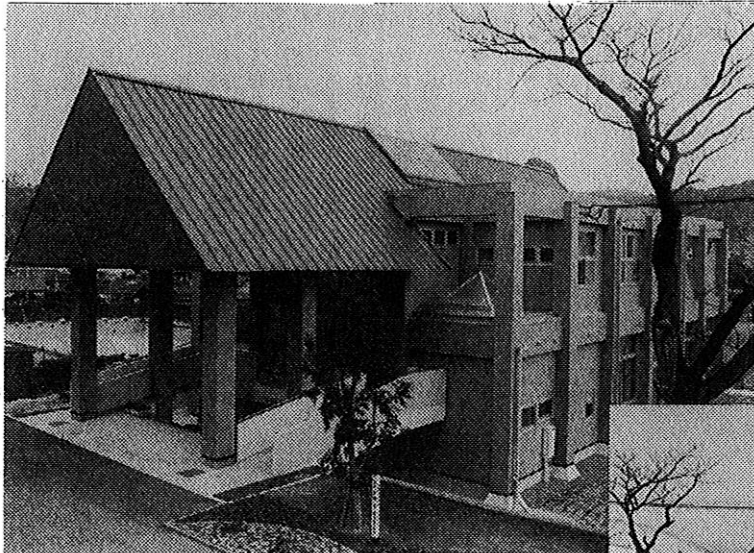
開宴前に井手元研一氏(高21回卒)のチェロ演奏と、池端ミチ子さん(高4回卒)の独唱のアトラクションなどがあり、開会のことばと同時に西田千枝子さん(高女17回卒)による祝儀の舞が、そして実行委員長のあいさつと続き、本校新体操部のダンスが披露され、岸園司氏の乾杯の音頭で開宴されました。東鶴敏男先生たち恩師によるスピーチや飛び入りの詩吟、踊りなど参加者



祝賀会

が次々と狭い舞台上に上がり宴はたけなわ、猪俣陸彦氏（MBCタレント・高17回卒）のかごしま弁まじりの司会で賑やかに進行し、最後に校歌の大合唱と万歳三唱で百周年記念行事の全日程を無事終了しました。

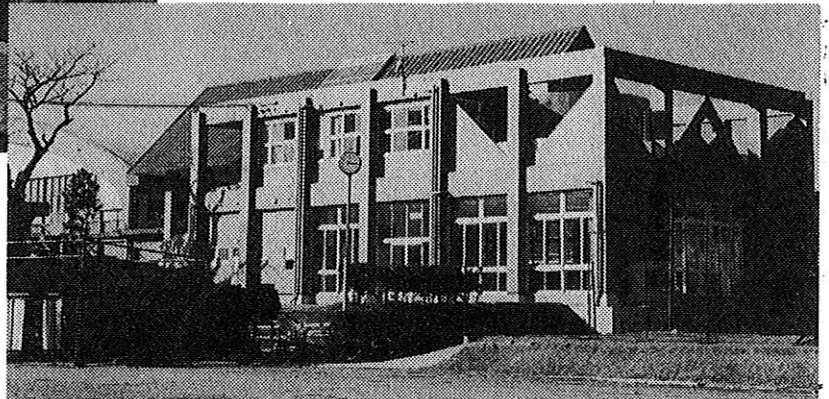
創立百周年記念事業の大切な年に、同窓会事務局の仕事に携っておられたお二人が転勤のため、慣れない事務局の仕事のために多くの同窓生の方々に、募金活動や記念事業のことなどでご迷惑をおかけいたしました。現在、募金をしてくださった方々へ送呈する「事業報告書」を作製中です。完成次第発送するための残務整理を新築の龍門会館で行っています。



同窓会館正面入口より

岸園司氏五百〇〇、東京龍門会百万円、そしてオイレス工業(株)江草社長より二百五十万円と、皆様から寄せられました寄付金は、募金総額一億円の大台に乗ることが出来て記念式典へのはずみとなりました。

それでもまだ同窓会館建設資金は不足のため、今後も募金活動は続けていかなければなりません。とりあえず東京龍門会の会員皆様の暖かい御援助と御協力に感謝いたしまして、御礼の報告にかえさせていただきます。



同窓会館後方側面



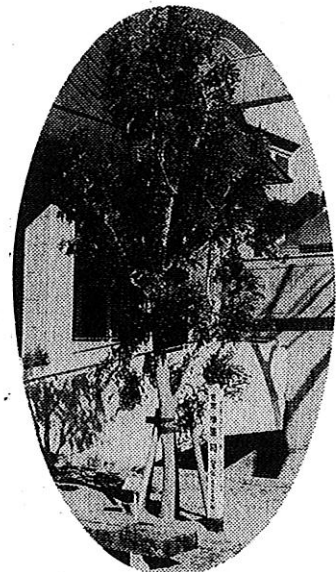
「乙女の像」

法元六郎氏(中28回)より寄贈



「肢巻」

小浜道子氏(元教諭)より寄贈



「記念樹(シャトリネコ)」

岸園司氏(高2回)より寄贈

### ミニ通信

○昨年の9月23日で満百歳を迎えました。昭和60年3月初めて飛行機に乗り鹿兒島空港に降り、小学校と旧高女の前を通り昔をなつかしみました。その折何十年ぶりにお逢いした緒方くにさんも今は亡くなり一寸淋しいです。旧加治木高女の創立に奔走した父(勝目実憲)そこで学びしなつかしい思い出。今は加治木には甥の松浦俊彦

### 総会への参加を お待ちしております

東京龍門会々長 今村 彬  
(高2回)

景気の低迷に続き目にあまる青少年の犯罪の多い昨今の世相ですが、皆様いかがお過ごしですか。昨年は喜ばしき母校百周年に当りその祝賀会が盛大に挙行され、また記念事業として永年取り組まれてきました同窓会館も斬新なデザインと工夫された設備を整え完成しました。名称は「龍門会館」と名付けられました。これも一重に東京龍門会の同窓生の方々の協力の賜物と心から感謝いたします。そして建設募金の協力を母校より東京龍門会に感謝状が贈られましたのでご報告します。記念

事業の詳しい内容については同窓会事務局より報告されていきますので省略しますが、ただ会館の建設資金が不足しており、募金活動が続けられていくようですのでご協力の程お願いいたします。今年もまた総会の日が近づきました。多くの方の参加をお待ち申しあげます。

### 母校創立百周年記念事業を終えて

加治木高校 同窓会事務局 柏木 恬

創立百周年記念行事が平成9年11月1日(土)に挙行されました。好天に恵まれ、多数の同窓生の方々に参加いただき、受付の混乱もひどいもので、大変ご迷惑をかけましたが、盛大に執り行なわれました。東京龍門会の同窓生の方



母校より贈られた感謝状

て各代表八名の方々が玉串奏奠されました。

#### ※記念式典(11時)

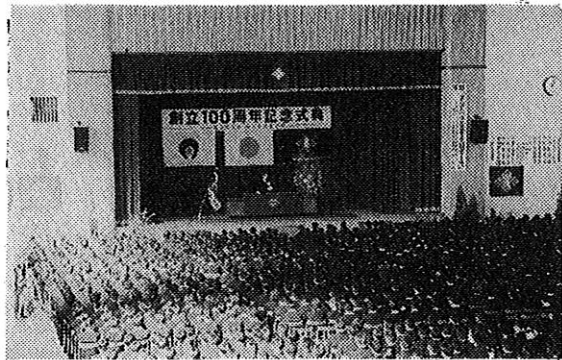
来賓、同窓生、職員(旧・現)、そして本校生徒約千八百名が出席して、本校の体育館で行なわれました。国家斉唱のあと校長式辞、実行委員長、PTA会長のあいさつがあり、祝辞に県知事、県議会議長、県教育委員会教育委員長また県高校長協会代表の方々から言葉をおいただきました。そして生徒会長の加世田裕子さんの「喜びのこぼれ」と本校吹奏楽部の演奏のもとで校歌斉唱がありました。沢山の同窓生の方々の参加に生徒たちも百周年の重みを感じたようです。それから永年お世話になりました学校医の先生、同窓

会館建設募金に多額の寄付をいただいた方、また記念扁額や記念像などをいただいた12名の方々に表彰状・感謝状の贈呈がありました。

#### ※記念講演(11時10分)本校体育館

演題「グローバル企業をめぐって」ーグローバル・スタンダードの時代ー  
講師に岸園 司氏(オイレス工業(株)会長・高2回卒)を迎え、

沢山の聴衆の中で、本校在学中に戦火に会い、本校校舎が全焼したこと、仲間の死など空襲の体験談は在学生たちちに現在の幸わせな時代を考へさせられたようです。また本校で学んだことの意義、そして国際社会に必要なことや自分の会社経営に対する数々の言葉、「神は皆平等に一日24時間という時をくださった。過去は過ぎ去り、未来は来たらず、今に生きよ、時は今です」とか、グローバル三極戦略で得た各国の特徴は「アメリカは開放性、ヨーロッパは古い伝統を大変大事にする、アジアの人は繋がりを大切にすること」を踏まえての会社経営、また「自分とは人生というストーリーのシナリオライター、かつそれを演じる役者なのだ」という言葉など



在校生も参加しての式典会場



岸園司氏の講演

在校生徒たちは我が大先輩の話に感動し、百周年の重みと国際社会に生きる先輩に対し、これからの人生の良き糧となる講演であつたと大好評でした。

#### ※祝賀会(13時30分)ホテル京セラ

開宴前に井手元研一氏(高21回卒)のチェロ演奏と、池端ミチ子さん(高4回卒)の独唱のアトラクションなどがあり、開会のことばと同時に西田千枝子さん(高女17回卒)による祝儀の舞が、そして実行委員長のあいさつと続き、本校新体操部のダンスが披露され、岸園司氏の乾杯の音頭で開宴されました。東鶴敏男先生たち恩師によるスピーチや飛び入りの詩吟、踊りなど参加者

がいるだけでもう帰れないでしょう。  
 (女・大3卒 和田ムツ)  
 ○創立百周年感無量です。昔の事を懐かしんでいます。同級生113名の内生存者20名でその一人です。  
 (中・大13卒 永田友規)

○母校遂に創立百周年を迎う。歓迎に堪えず。百年の歲月幾多の同窓生各界に飛躍す。母校存在天下に冠たるの感有り。迎え喜び百周年折る母校永遠の栄光を。  
 (中・昭2卒 大八木敏夫)

○早いもので今年も同窓会ですね。「生きている」との実感を憶えます。阿佐ヶ谷に住んで50年を過ぎ子供達も皆成人しました。鹿児島弁が懐かしく会に出席をし度く思うのですが、欠席で申し訳なく存じます。現状を維持しながら明るく生きております。会の繁栄を心より祈念いたします。  
 (女・昭16卒 瀬戸千鶴子)

○平成9年度の東京龍門会新春囲碁大会にCクラスで優勝するも、会報にはA・Bクラスのみ掲載され、Cクラスは不掲載。名誉毀損では。何はさて置いてもふだん一緒に飲めない人達と加治木を肴に飲ん方を楽しみにしています。  
 (中・昭21卒 北野菊夫)

※原稿の書落しでスモンハンジャシタ。  
 (係)  
 ○昨年5月末加治木柅城小同窓会に出席のため帰省。加治木から観る「桜島」ふるさとの山は有り難きかな。出来ることならば加治木に永住したいと思ふ。  
 (中・昭22卒 井上正平)

○当方医師と相談しながらですが週2日都心に通い、ほかの日は古文書読みに余念がありません。  
 (中・昭22卒 山崎和生)

○無位無冠となり趣味として最近始めた写真を楽しみながら過ごしております。諸兄姉のご多幸をお祈りします。  
 (中・昭23卒 鶴木恒治)

○34年前次男出産の折輸血それが元で6年前C型肝炎となり、正月早々の1月8日肝臓ガンのため手術200g位を摘出、現在療養中です。と云っても主婦故ボツボツ家事をやっております。  
 (女・昭24卒 齊藤敏子)

○昭和20年15歳中学3年のときに大阪より父の故郷である溝辺村麗木佐貫に行き久しぶりに銀シャリを食べた。9月に加治木中学に転校したが充分な校舎はなく、隼人町の富熊小学校で授業が始まった。その後牧園分校に移り昭和23年旧制中学最後の卒業生となり、翌年新制高校一期の卒業生となる。その後麻布医科大学を卒業し、しばらく獣医として犬猫病院をやっていたが、今は医院の事務長をやっている。数学の砂川先生親子には大変お世話になった。どうしておられるだろうか懐しく思う。52年前のことだがそんなに昔のことは思えない。一九三〇年生まれ67歳のオッサンになった。  
 (高・昭24卒 前田 平)

○横ゴ爺を 孫が四五日 守ゆばシツ  
 薩摩 狂句  
 (高・昭24卒 前田 平)

○乾杯ゆば 早よ言わんかち 泡ちゆ砥メツ

○長法要 鉦が鳴い度び 目が覚ツ

○ワイ寝相ン女房に 蜚蜚が目を回エツ

○朝寝女房 欠伸し乍し 議を吐エツ

○頭髮な乱雑つ 腰巻や ヒツ落エツ

○緩リギツタ サイマタを握ツ 尻から走ツ

○緩リギツタ 思い出すことがある。ギツタで思い出すことがある。

「徳之島での話。島の警察官の奥さんたちが集ってオニギリ作りをしていた。年末が正月の子供たちの遊びの事が話題になり、私たちの若い頃は「よくギツタマイで遊びヨツタネー」と懐しそう。だけれからともなく「そうそうギツタマイがアツタナー」と一座はにぎやか。そのグルーブの一人に埼玉県から嫁いできて、まだあまり土地に慣れないご婦人がおられ、そのご婦人オニギリの形を整えながら、徳之島へ来て「イサマイ」というのは聞いたことはあるが「ギツタマイ」というのは新米なのだろうかと思案。まじめな顔で「そのギツタマイというお米は、徳之島ではどこに売っているんですか」と。はじめはポカーンとしていた先輩のご婦人たち。ギツタマイ(ゴムマリ)を「ギツタ米」の感違いと分かり、爆笑ひとしきりだったとか。ハイ!

○心身 児教育は老人介護問題  
 (高・昭47卒 大久保きみ子)

○練馬区立総合教育センターに勤めて4年目になります。

(高・昭27卒 伊藤良治)

○まだ現役で頑張っています。3年程前に大病をしましたが、体調も回復しゴルフが出来る幸わせを感じている今日この頃です。  
 (高・昭27卒 肥後 享)

○無職の身となりました。畑をやり時々大学の研究室に入入りさせて貰ったり、絵に熱中し、ゴルフ・テニスで汗流しています。こんな身分でバチが当たらないかと頼をつねっています。  
 (高・昭27卒 木佐木卓郎)

○定年後の就職に昨年6月からつくばへリポート管理事務所勤務しております。  
 (高・昭31卒 養毛長敦)

○セカンドライフへのスタートの年となりました。母校百周年記念となり感無量です。  
 (高・昭31卒 上原輝彦)

○故郷で過ごした18年間をとうに上回る年月をこちらで数えているのに、ひと時も鹿児島島のこと、加治木高校の事を忘れず懐かしく思います。思えばイイ故郷をもったものです。(高・昭42卒 高野俊明)

○卒業してはや25年。光陰矢の如しです。毎年帰省していますが、一日たりともふる里は忘れることはありません。同期の植田登さんのお通夜に行き、私たちも成人病に気をつけなければならぬ年令になったようです。  
 (高・昭47卒 大久保きみ子)

○心身 児教育は老人介護問題  
 (高・昭47卒 大久保きみ子)

と合わせて21世紀の日本の2大テーマになりつつあります。思いやりの心”を少子化をたどる日本の現状においてどう子供達に伝えるか? 私はロマンロンによってベートーベンの音楽を知り、彼の音楽を深く理解することがその鍵とみえます。人間教育これこそ物のあふれた日本で一番求められている大切なテーマだと信じています。  
 (高・昭53卒 川東守保)

○3年ぶりに鹿児島に帰省し、小2の長男と幼稚園の次男をつれて「ここが母さんの出た小学校と高校だよ」とみせにいきました。高校の女子制服が変わっていなくて懐かしいなあと思いました。  
 (高・昭56卒 市来さゆり)

《ク イ ズ》

○将棋から出た言葉で一つだけ将棋と関係のないのがあります。何番でしょう?

一、瓢箪(ひょうたん)から駒が出た。

二、巨人が優勝へ王手を掛けた。

三、電車が急停車し、乗客は将棋倒しとなる。

四、彼は土地成金らしい。

五、うちの社長は何時も高飛車に出て怒鳴る。

六、彼は柱馬の様なヤツだ(奇人、変人のこと)。

七、銀が鳴いている(歌舞伎の名場面)。

八、カミさんに相談したら頭金を喰らった。  
 (出題: 鶴木 悟)